



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 ニチモウ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8091 URL <http://www.nichimo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 和明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼財務部長 (氏名) 小島 章伸 (TEL) 03-3458-4550
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	61,332	0.4	1,245	△15.3	1,438	△11.2	1,106	0.3
2023年3月期第2四半期	61,110	16.1	1,471	7.8	1,619	1.2	1,103	△6.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,524百万円(22.7%) 2023年3月期第2四半期 2,058百万円(25.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 268.11	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	322.60	312.45

(注) 2024年3月期第2四半期において、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	百万円 92,933	百万円 27,023	% 29.1
2023年3月期	78,647	24,095	30.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 27,008百万円 2023年3月期 24,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 70.00	円 銭 —	円 銭 90.00	円 銭 160.00
2024年3月期	—	90.00			
2024年3月期(予想)			—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	131,000	3.3	3,100	7.9	3,500	8.7	2,500	2.6	700.23	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	4,504,400株	2023年3月期	4,248,200株
2024年3月期2Q	337,912株	2023年3月期	337,731株
2024年3月期2Q	4,127,824株	2023年3月期2Q	3,420,859株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、役員向け株式報酬制度を導入しており、期末自己株式には該当信託口が保有する当社株式が含まれております。また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	10
（セグメント情報等）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、本年5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類へ移行したことなどに伴い、行動制限の緩和がより一層進み、経済活動は緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で、不安定な国際情勢のなか、資源や燃料価格の高止まり、急激な物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような経済環境のなか、当社グループの事業基盤であります水産、水産加工・流通、食品の各分野におきましては、インバウンドや外食需要の復調傾向に対し、想定を上回る物価の上昇が個人の消費行動を限定する形となりました。他方で、ALPS処理水放出に伴う中国による禁輸措置等により、結果として日本産水産物への不安感を煽ることとなり、相場に影響を与えるなど、先行きが掴めない状況となっております。

こうした情勢のもとで、当社グループは、3ヵ年経営計画「第137期中期経営計画（Toward the next stage）」の2年度として、経営方針「浜から食卓までを網羅し繋ぐ」をベースに、当社グループならではの一貫した体制で営業展開を推し進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は613億32百万円（前年同期比2億22百万円の増加）、営業利益は12億45百万円（前年同期比2億25百万円の減少）、経常利益は14億38百万円（前年同期比1億81百万円の減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億6百万円（前年同期比3百万円の増加）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

<食品事業>

すり身部門では、原料相場の断続的な下落により販売も低調に推移するなど、売上、営業利益ともに大きく減少いたしました。鮮凍水産物部門では、カニは物価の上昇を受け、通販向け販売が低調に推移した結果、売上は大きく減少いたしました。業務筋に向けた販売が回復してきたことで利益率が改善し、営業利益は増加いたしました。助手は土産向けの販売が堅調に推移いたしました結果、売上は増加いたしました。原料価格の高騰の影響により営業利益は減少いたしました。北方凍魚は、為替変動の影響などで相場が弱含みで推移し、原料・加工品の販売も振るわず、売上、営業利益ともに減少いたしました。加工食品部門では、養殖銀ザケの販売が好調に推移したことに加え、ツナやサケ・マス加工品において、原料価格高騰に対する製品価格への転嫁が順調に進みました結果、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は383億77百万円（前年同期比15億45百万円の減少）、セグメント利益は7億40百万円（前年同期比3億50百万円の減少）となりました。

<海洋事業>

漁網・漁具資材部門では、イワシなどの一部魚種が豊漁であったことから、近海まき網用の漁具資材などの製造・販売が好調で、官公庁向けや海外まき網用、底曳き用の各種漁具資材の販売も堅調に推移いたしました結果、売上、営業利益ともに増加いたしました。また、船舶・機械部門では、船舶用機器類ならびに船用品の販売が順調に推移し、売上、営業利益ともに増加いたしました。養殖部門におきましても、引き続き各種養殖用資材、養殖用餌料の販売やサケ科魚類を中心とした種苗の販売が順調に推移いたしました結果、売上、営業利益ともに大きく増加いたしました。

これらの結果、売上高は111億37百万円（前年同期比12億45百万円の増加）、セグメント利益は5億51百万円（前年同期比2億4百万円の増加）となりました。

<機械事業>

機械事業におきまして、国内では、人流の再開に伴い、人手不足への対応による省人化に向けた動きとして、冷凍食品・豆腐業界における機器類の増設や更新などの案件を獲得したことで、売上、営業利益ともに増加いたしました。海外におきましても、省人化を目的とした豆腐・総菜など各種生産設備の需要が増加しており、円安による輸出面でのメリットを享受しながら、営業活動に努めました結果、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は60億72百万円（前年同期比6億44百万円の増加）、セグメント利益は5億58百万円（前年同期比1億43百万円の増加）となりました。

<資材事業>

資材事業におきまして、化成品部門では、マンション需要は底堅く推移しておりますが、各種商材の原料価格の高騰が続くなか、製品価格への転嫁が進まず、売上、営業利益ともに減少いたしました。包装資材は、各コスト上昇の影響を受け、売上は減少いたしました。食品関連資材の拡販に努めました結果、営業利益は前年同期並となりました。農畜資材においては、農業用資材・肥料の拡販に努めました。それぞれ原料価格高騰の影響により、売上、営業利益ともに減少いたしました。

これらの結果、売上高は42億62百万円（前年同期比1億49百万円の減少）、セグメント利益は1億79百万円（前年同期比61百万円の減少）となりました。

<バイオティックス事業>

バイオティックス事業では、医療関係者向けや通信販売は引き続き堅調に推移しましたが、大手健康食品メーカー向け「アグリマックス」や「イムバランス」の素材および薬局向けOEM商品の販売が振るわず、売上高は1億39百万円（前年同期比16百万円の減少）、セグメント利益は0百万円（前年同期比4百万円の減少）となりました。

<物流事業>

物流事業では、車両に係る経費負担増や運送業界における慢性的な人員不足による経費増などが続くなか、打開策として関東圏での拠点確保に乗り出してはおりますが、計画通りに進まず、売上高は12億88百万円（前年同期比43百万円の増加）、セグメント損失は92百万円（前年同期は34百万円のセグメント損失）となりました。

<その他>

その他といたしましては、不動産の賃貸、人材派遣業を行っており、売上高は54百万円（前年同期比0百万円の増加）、セグメント利益は13百万円（前年同期比28百万円の減少）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資 産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は929億33百万円（前連結会計年度比18.2%増）となりました。総資産の増加は、主として売上債権及び棚卸資産の増加によるものであります。

（負 債）

当第2四半期連結会計期間末における総負債は659億9百万円（前連結会計年度比20.8%増）となりました。総負債の増加は、主として仕入債務及び短期借入金金の増加によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は270億23百万円（前連結会計年度比12.2%増）となりました。純資産の増加は、主として資本金及び利益剰余金とその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、前回公表（2023年5月12日）いたしました連結予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,613	9,106
受取手形及び売掛金	17,162	18,580
商品及び製品	24,639	32,177
仕掛品	836	1,299
原材料及び貯蔵品	3,472	4,883
前渡金	741	713
その他	750	912
貸倒引当金	△63	△72
流動資産合計	55,152	67,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,321	10,545
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,528	△6,675
建物及び構築物（純額）	3,792	3,869
機械装置及び運搬具	8,744	8,907
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,242	△6,460
機械装置及び運搬具（純額）	2,502	2,447
工具、器具及び備品	1,037	1,043
減価償却累計額及び減損損失累計額	△823	△849
工具、器具及び備品（純額）	214	193
土地	2,938	2,953
建設仮勘定	437	446
有形固定資産合計	9,885	9,910
無形固定資産		
その他	772	796
無形固定資産合計	772	796
投資その他の資産		
投資有価証券	11,919	13,692
長期貸付金	39	37
破産更生債権等	899	914
繰延税金資産	249	278
その他	526	523
貸倒引当金	△918	△932
投資その他の資産合計	12,715	14,514
固定資産合計	23,373	25,221
繰延資産		
社債発行費	122	109
繰延資産合計	122	109
資産合計	78,647	92,933

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,583	15,048
短期借入金	19,997	29,900
1年内償還予定の社債	576	576
1年内返済予定の長期借入金	1,062	3,588
未払法人税等	469	413
賞与引当金	508	496
その他	2,758	2,178
流動負債合計	37,956	52,201
固定負債		
社債	5,862	5,574
長期借入金	8,526	5,646
繰延税金負債	570	910
役員退職慰労引当金	143	142
役員株式給付引当金	184	192
退職給付に係る負債	744	704
その他	563	537
固定負債合計	16,595	13,707
負債合計	54,552	65,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,589	6,354
利益剰余金	16,252	17,004
自己株式	△916	△917
株主資本合計	20,925	22,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,707	3,828
繰延ヘッジ損益	△6	7
為替換算調整勘定	579	846
退職給付に係る調整累計額	△125	△116
その他の包括利益累計額合計	3,155	4,566
新株予約権	2	-
非支配株主持分	12	15
純資産合計	24,095	27,023
負債純資産合計	78,647	92,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	61,110	61,332
売上原価	55,484	55,814
売上総利益	5,626	5,517
販売費及び一般管理費	4,154	4,272
営業利益	1,471	1,245
営業外収益		
受取利息	2	10
受取配当金	99	112
持分法による投資利益	190	225
為替差益	7	1
その他	90	84
営業外収益合計	390	434
営業外費用		
支払利息	191	196
シンジケートローン手数料	8	8
その他	43	37
営業外費用合計	242	242
経常利益	1,619	1,438
特別利益		
固定資産売却益	4	2
投資有価証券売却益	98	-
リース債務解約益	-	4
補助金収入	298	-
新株予約権戻入益	130	-
特別利益合計	531	6
特別損失		
固定資産除却損	6	7
固定資産圧縮損	298	-
ゴルフ会員権評価損	1	-
役員株式給付引当金繰入額	258	-
特別損失合計	565	7
税金等調整前四半期純利益	1,585	1,437
法人税、住民税及び事業税	505	475
法人税等調整額	△38	△151
法人税等合計	466	324
四半期純利益	1,118	1,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,103	1,106

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
四半期純利益	1,118	1,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	230	1,104
繰延ヘッジ損益	80	14
為替換算調整勘定	635	267
退職給付に係る調整額	11	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	16
その他の包括利益合計	939	1,411
四半期包括利益	2,058	2,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,042	2,517
非支配株主に係る四半期包括利益	15	6

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,585	1,437
減価償却費	542	575
のれん償却額	21	-
繰延資産償却額	11	12
賞与引当金の増減額（△は減少）	△29	△13
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△3	△0
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	262	7
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△18	△27
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△87	19
受取利息及び受取配当金	△102	△122
持分法適用会社からの配当金の受取額	21	23
支払利息	191	196
持分法による投資損益（△は益）	△190	△225
投資有価証券売却損益（△は益）	△98	-
ゴルフ会員権評価損	1	-
有形固定資産売却損益（△は益）	△4	△2
有形固定資産除却損	6	7
固定資産圧縮損	298	-
リース債務解約益	-	△4
補助金収入	△298	-
新株予約権戻入益	△130	-
売上債権の増減額（△は増加）	657	△1,295
棚卸資産の増減額（△は増加）	△10,481	△9,326
前渡金の増減額（△は増加）	△644	30
仕入債務の増減額（△は減少）	392	2,418
契約負債の増減額（△は減少）	148	△615
未払消費税等の増減額（△は減少）	△23	△86
その他	1	198
小計	△7,968	△6,794
利息及び配当金の受取額	100	126
利息の支払額	△186	△196
法人税等の支払額	△905	△535
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,959	△7,399
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4	△2
定期預金の払戻による収入	9	105
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,027	△666
有形及び無形固定資産の売却による収入	28	0
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	139	-
補助金の受取額	298	-
長期貸付金の回収による収入	1	1
その他	△54	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△613	△564

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,326	9,841
長期借入れによる収入	2,830	250
長期借入金の返済による支出	△515	△604
社債の発行による収入	3,409	-
社債の償還による支出	△2,174	△288
新株予約権の発行による収入	7	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	54	752
自己株式の取得による支出	△319	△0
自己株式の売却による収入	318	-
配当金の支払額	△205	△361
非支配株主への配当金の支払額	△2	△3
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△126	△101
その他	△8	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,595	9,476
現金及び現金同等物に係る換算差額	117	53
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,140	1,566
現金及び現金同等物の期首残高	5,571	6,939
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	17
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,711	8,523

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において、第1回新株予約権の一部権利行使により、資本金が765百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が6,354百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオテ ィックス 事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	39,923	9,891	5,428	4,412	155	1,245	61,056	54	61,110
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	159	628	38	189	—	16	1,032	12	1,045
計	40,082	10,520	5,467	4,601	155	1,261	62,088	66	62,155
セグメント利益 又は損失(△)	1,091	347	414	241	4	△34	2,064	42	2,106

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,064
「その他」の区分の利益	42
全社費用(注)	△635
四半期連結損益計算書の営業利益	1,471

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオテ ィックス 事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	38,377	11,137	6,072	4,262	139	1,288	61,278	54	61,332
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	341	1,115	75	170	—	16	1,719	93	1,813
計	38,719	12,252	6,148	4,432	139	1,304	62,997	148	63,145
セグメント利益 又は損失(△)	740	551	558	179	0	△92	1,938	13	1,951

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,938
「その他」の区分の利益	13
全社費用(注)	△705
四半期連結損益計算書の営業利益	1,245

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。